

(1)事業の概要等

令和6年度 事務事業評価シート

事業番号		事務事業名		◇◇◇◇◇◇◇◇事業			事業期間		平成元年度	～	令和8年度以降							
実施計画事業																		
実施計画事業以外の事業		担当部		〇〇部			担当課・担当係		〇〇課〇〇係									
事業の概要	小牧市まちづくり推進計画(R5年～R8年)	自治体経営編	基本 施策	1	展開 方向	1	事業・予算区分	一般事業	款	…	項	…	目	…	大	…	中	…
	根拠法令・個別計画	【記載例】 ◇◇◇法第△条、◇◇◇要綱、◇◇◇計画					対象 (何・誰を対象に)		【記載例】 ◇◇◇の市民、◇◇◇団体、◇◇◇会、◇◇◇事業者 ◇◇◇の問題									
	目的 (何のために)	【記載例】 ◇◇◇◇◇のため、△△△△△を目指す。 〇〇〇〇〇を■●●●●するため、△△△△△を目指す。 △△△△△から◇◇◇◇◇へ。					内容 (どのような方法で)		【記載例】 ○令和5年度の実施内容 ◇◇◇◇◇◇のため、△△△△△を実施した。実施の結果、〇〇〇人の参加者があり、アンケートを行ったところ、☆☆☆といった意見をいただいた。									

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R2	R3	R4	R5	R6
			*****	*****	****	*****	
直接経費	決算額	財源	一般財源	—	—	—	—
			国・県支出金	—	—	—	—
			その他	—	—	—	—
		計(A)	*****	*****	****	*****	
	対前年比	%	—	—	—	—	
	予算額	千円	*****	*****	*****	*****	*****
人件費	正規職員	人	***	***	***	***	
	正規職員(平均賃金)	千円	**	**	**	**	
	その他職員	人	****	****	****	****	
	その他職員(時給×時間)	千円	****	****	****	****	
	計(B)	千円	****	****	****	****	
事業費合計(C=A+B)		千円	****	****	****	****	

(3)業績

展開方向における指標の推移	基本施策	1	指標名	単位	方向性	基準値	R5	R6	R7	R8
			1	△△△△	**	↗	**	***	***	***
展開方向	1	2								
		3								

指標	指標ほか		単位	R2	R3	R4	R5	R6	
	成果指標	◇◇◇◇◇◇	**	目標	*****	*****	*****	*****	*****
				実績	*****	*****	*****	*****	
	活動指標	○○○○○○	**	目標	*****	*****	*****	*****	*****
				実績	*****	*****	*****	*****	
	単 事 業 あ た り	受益者数(a)		人	****	****	****	****	
		受益者あたり事業費(=C/a)		円	*****	*****	*****	*****	

(4-1)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持(改善)	事業のボリュームは現状規模で維持するものの、手法の改善をするもの		
	事業の達成状況と課題	<p>【記載例】 令和5年度は、○○○事業を実施した結果、成果指標は目標値に近似したものの目標値には未達である。これは、分析の結果、□□□が要因と考えられるため、この要因を解消し目標値達成を図る必要がある。また、単位当たり事業費は◇◇◇という要因から、増加傾向にあるため事業費の削減を図る必要がある。</p>	<p>令和5年度に実施した具体的な事業内容および課題について記載しています。</p>	<p>【記載例】 成果指標の目標値未達の要因を解消するため、◇◇◇を実施することで事業のボリュームは変えずに目標値達成を図る。 今後は、増加しつつある事業費の事業の実施方法を○○○から△△△に変更することで事業費を削減を図る。 さらに△△△△を行うため、○○○○○の検討を行い、令和6年度より実施する。</p>	<p>今後の実施内容・今後の改善内容</p> <p>今後実施する事業内容および改善内容について記載しています。</p>
		改善の有無	有	***** 千円 節 ** 細節 ** 細々節 **	
これまでの改善内容	<p>【記載例】 これまで行ってきた△△△を○○○に変更することで、事務量の削減が行えた。</p>	<p>これまでに行った改善について記載しています。</p>	<p>事務事業評価</p> <p>(計算式) ○○○による事業費-△△△による事業費=◇, ◇◇◇千円</p>		

(4-2)事業継続の可能性(事業のスクラップ可能性)

		評価項目	評価結果	評価結果を判断した理由
事業分析	妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	事業継続の可能性について担当課で評価を行っています。	〇〇〇の実施は行政でしか行えず、対象である△△△については、公費の投入が妥当。
	有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	一部の住民に影響がある	対象市民の数がさほど多くないため、一部の市民にしか影響はない。
	効率性	サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	削減の余地がある	令和〇年度に事業の実施方法を〇〇〇から△△△に変更する予定をしているため。
		外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	現状のままでよい	〇〇〇の実施は行政でしか行えないため、外部委託先が存在しない。類似事業を行っている自治体は存在しているが、△△△のため現状のままとしたい。
	公平性	受益者負担は適正か	住民負担を増やす(設定する)べきだ	〇〇〇の実施については、対象市民が多くないが、市の費用負担が大きい。受益者負担を行うことで、費用を削減しながらこれまで通りの事業が実施可能。